

有明工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	課題研究Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		3L001		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		創造工学科(環境生命コース)		対象学年		3	
開設期		後期		週時間数		後期:1	
教科書/教材		配布プリント					
担当教員		出口 智昭,藤本 大輔					
到達目標							
1. 化学や生物に関する専門に関連した課題に対して、課題の内容を理解して研究計画を設定できる。 2. 課題に対してグループで文献調査、議論等を行い研究を遂行できる。 3. 研究成果をポスター及びレポートにまとめて発表できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		課題の内容を正確に理解し、適切な研究計画を設定できる。		課題の内容を理解し、研究計画を設定できる。		課題の内容が理計画も設定できない。	
評価項目2		課題に対してグループで文献調査、議論等を的確に行い自発的に研究を遂行できる。		課題に対してグループで文献調査、議論等を行い研究を遂行できる。		課題に対してグループで文献調査、議論等を行い研究を遂行できない。	
評価項目3		研究成果を分かりやすくポスター及びレポートに正確にまとめて発表できる。		研究成果をポスター及びレポートにまとめて発表できる。		研究成果をポスター及びレポートにまとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 C-1 学習・教育到達度目標 C-2							
教育方法等							
概要		2年時の課題研究Ⅰにおいて修得した基本的な研究の遂行方法を基にして、化学や生物の専門分野に関する課題について、教員の指導を受けながらグループで自発的に研究を行う。研究の目的を設定し、研究計画をたて研究を進め、成果をまとめる一連の流れを通じて、問題解決能力を養う。また、研究はグループで行うためリーダーシップ力やチームワーク力についても修得する。					
授業の進め方・方法		コースの学生を4-5班に分け、与えられたテーマについて各班で目的を設定して、研究を行う。文献調査等を行い、各自で得られた内容について班で議論し、最終的な成果をポスター発表及びレポートで報告する。研究課題は2つ設定して、研究を行う。成績は、ポスター発表、提出する報告書等を考慮して総合的に評価する。					
注意点		自主的に研究を進める意思を持ち、自発的に進めること。他人の意見もよく聞き、議論できること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		シラバスの内容を理解し、本科目の概要が理解できること。		
		2週	研究課題の設定		課題の内容を理解し、研究の目的を立てることができること。		
		3週	研究計画		研究の内容を理解して計画を立てることができること。		
		4週	研究活動		研究を実施できること。		
		5週	研究活動		研究を実施できること。		
		6週	発表会資料作成		研究成果をポスターにまとめることができること。		
		7週	成果発表会		研究成果をポスターを用いて発表できること。		
		8週	レポート作成		研究成果をレポートにまとめることができること。		
	4thQ	9週	研究課題の設定		課題の内容を理解し、研究の目的を立てることができること。		
		10週	研究計画		研究の内容を理解して計画を立てることができること。		
		11週	研究活動		研究を実施できること。		
		12週	研究活動		研究を実施できること。		
		13週	発表資料作成		研究成果をポスターにまとめることができること。		
		14週	発表会		研究成果をポスターを用いて発表できること。		
		15週	レポート作成		研究成果をレポートにまとめることができること。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。		3	後2,後3,後9,後10
				他者の意見を聞き合意形成することができる。		3	後2,後3,後9,後10
				合意形成のために会話を成立させることができる。		3	後2,後3,後9,後10
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。		3	後2,後3,後9,後10

				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	後4,後5,後11,後12
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	後4,後5,後11,後12
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	後4,後5,後11,後12
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	後4,後5,後11,後12
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	後4,後5,後11,後12
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	後6,後7,後8,後13,後14,後15
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	後4,後5,後11,後12
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	後4,後5,後11,後12
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	後2,後3
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	後4,後5,後11,後12
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	後4,後5,後11,後12
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	後2,後3,後9,後10
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	後4,後5,後11,後12
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	後4,後5,後11,後12
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	後4,後5,後11,後12
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	後4,後5,後11,後12
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	後4,後5,後11,後12
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	後4,後5,後11,後12
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	後4,後5,後11,後12

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	10	0	60	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	30	10	0	60	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0